

今年も華やかに「ひな祭り」を開催しました！



喜らめき銀河タイムス

社会福祉法人 溪仁会 経営理念
一、安心・安全
二、信頼・満足
三、地域に貢献

ひな人形に関する豆知識

日本での始まりは平安時代といわれており、貴族の間では小さな人形を「ひな」「ひいな」と呼んで、小さな女の子たちで遊んでいたようです。当時は今のようない人形ではなく、紙のようないもので作られていたそうです。

室町時代に入ると「立雛」（たちびな、たちいびな）が登場し今のひな人形の原型といわれています。時代が流れ、室町から江戸、明治になるにつれ、ひな人形も進化して立派な姿（現在の形）になったといわれています。

「暴れん坊将軍」徳川吉宗の治世で様々な贅沢が禁止され当時は、ひな人形の大きさ制限や、道具類の装飾にも制限が設けられたそうです。皆さんご存知でしたか？

職員の退職・異動について

このたび、3月末をもって退職させて頂くことになりました熊本富子です。平成25年4月より4年間勤務させて頂きました。ご利用者の皆様、ご家族の皆様はじめ関係者の皆様には大変お世話になりました。

サービス提供責任者として至らない所だらけでしたが、皆様に支えられて続けることができました。また、皆様から多くのことを学ばせていただき心より感謝申し上げます。

今まで本当にありがとうございました。



4月1日よりるすつ銀河の杜で生活相談員として勤務することになりました木下雄一と申します。以前、札幌でケアマネジャーをしていた時、喜茂別町、留寿都村の皆様も担当させて頂いたことがあり、約2年間にわたり毎月何回かはこちらに足を運んでいましたので新天地での勤務というよりは懐かしい印象です。これからは地域の皆様からより信頼される施設づくりを目指し頑張りたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。



平成27年3月より、るすつ銀河の杜の生活相談員として勤務し、2年の月日が経ちました。

留寿都村の地域の方々と施設での行事を通じて様々な交流をさせて頂きました。地域の皆様やご家族様の暖かさには支えられ今日まで務めさせて頂くことができたことに感謝しております。

今後は、るすつ銀河の杜での経験を活かし、きもべつ喜らめきの郷でも頑張りたいと思いますので、どうぞ宜しくお願い致します。



平成29年4月より、るすつ銀河の杜デイサービスセンター管理者として勤務することになりました、高橋建（たかはしたてき）と申します。これまでは主に札幌市内の通所介護事業所で勤務しておりました。

これまでの経験を活かし、地域の皆様に愛される事業所運営をして参りたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。

平成29年4月からの生活相談員の体制は以下の通り変更となります。

きもべつ喜らめきの郷： 佐々木 貴紀 ・ 竹内 由美

るすつ銀河の杜： 木下 雄一